

科目	教育実習Ⅱ	担当	田中 信幸	履修学年	4年
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	必修	単位数	4単位
<p>【授業目標・到達目標】 教育実習は、大学で学んだ教職や教科の専門知識を用いて、教育現場で実際に指導を行うものである。 スポーツマネジメントコースの教職課程においては、中学校1種・高等学校1種(保健体育)の両方の取得をめざしているため、「教育実習Ⅰ」に加えて「教育実習Ⅱ」を行う。特に「教育実習Ⅱ」では道徳の指導と部活動の指導について実習をし、社会の要請に応えられる教員としての能力と資質を磨くことを目標とする。</p> <p>【履修注意】 教職課程履修者のうち、中学校1種と高等学校1種両方の普通免許状保健体育の取得を目指す者だけを対象とする。 大学における事前事後の指導、実習校における教育実習ともに、原則として欠席できない。</p> <p>【評価方法】 教育実習中の実習校における評価に、学内指導における学習指導案、模擬授業の内容、提出物、小テストの得点を加えて評価する。</p> <p>【試験について】 定期試験は実施しない。学内指導時には小テストを実施する。 再試験対象者の条件： 再試験は実施しない。</p> <p>【予習・復習】</p> <p>【教科書】 購入教科書なし</p> <p>【参考書】</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】 ① 学内事前指導(18コマ) 集中講義「事前・事後指導」「教育実習Ⅰ」における事前指導の後に実施する。 道徳の学習指導案と板書計画・発問計画・補助教材を作成し、その指導案に基づく模擬授業を実施する。 多くの学校で部活動を実施している種目(バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、陸上競技、体操、柔道)の中から、実技指導の指導案を、3種目、各種目1時間分以上作成し、それに基づいて模擬実技指導を実施する。</p> <p>② 現地実習(実習校における教育実習) 教育実習期間： 原則として3週間 各学校における教育実習期間(原則として3週間)のうちの最後の1週間を現地実習に充当する。 加えて、3週間の教育実習期間のうちの平日の部活動指導の実習、並びに教育実習期間の学校休業日(土曜日、日曜日)の部活動の指導実習も現地実習に充当する。</p> <p>③ 学内事後指導(2コマ) 集中講義である「事前・事後指導」と「教育実習Ⅰ」における事後指導の</p>					